

TYPE OF INDUSTRY

中小企業・地域経済

工場新設、動線を改善

サナ多種少量向け装置導入

【川越】サナ(埼玉県所沢市、秋山哲紀社長、04・2946・2341)は工場を新設した。2棟に分かれていた平屋の建物を2階建ての1棟に集約し、製造ラインの動線を改善。さらに、これまでより小型の製造装置を複数導入し、多品種少量生産に対応できるようにした。これにより、生産能力が最低でも2割増えるの見込んでい。投資額は約7億円。

生産能力2割増

順次、設備を稼働し、平方メートルで、2棟の旧工場から始めており、6月末に場よりややコンパクトな駐車場を含めすべてになったという。同じが完成する。工場の敷地内にある旧工場は、床面積は約2350平方メートルで、跡地は将来



の拡張用地とする。サナは微生物を活用した排水処理剤や脱臭剤などを製造。排水処理剤は主に食品工場向けの拡張用地とする。

「食品業界では新製品が年々増えており、工場からの排水を安定させるため、処理剤の需要が増えている」(秋山社長) ことに対応する。消臭剤もゴミ処理場や下水処理場、畜産農家

平屋の工場2棟を2階建ての1棟に集約し、動線を改善した。旧工場は業務の拡大に合わせ、拡張を繰り返していたため、原料入荷から加工、出荷までの動線が最適化されていなかった。また、粉体の原料も扱うため、集塵機の導入などで作業環境を改善することも必要だとして新工場建設を決めた。合わせて、原料を混合するミキサーも容量4トンの大型機を廃棄し、同2トン、1トン、500キログラムの装置を導入。「製品群が多いので、小回りの利くミキサーで稼働の回転数を上げる」(同) ことにした。最新鋭の装置となったことで、処理時間も従来の約3分の1に短縮され、生産効率も大幅に向上する。

向けなどに販売量が伸びている。

旧工場は業務の拡大に合わせ、拡張を繰り返していたため、原料入荷から加工、出荷までの動線が最適化されていなかった。また、粉体の原料も扱うため、集塵機の導入などで作業環境を改善することも必要だとして新工場建設を決めた。合わせて、原料を混合するミキサーも容量4トンの大型機を廃棄し、同2トン、1トン、500キログラムの装置を導入。「製品群が多いので、小回りの利くミキサーで稼働の回転数を上げる」(同) ことにした。最新鋭の装置となったことで、処理時間も従来の約3分の1に短縮され、生産効率も大幅に向上する。